

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2023年4月～6月期

第109回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和5年1月～3月比
 - (2)前年同期比 令和4年4月～6月比
 - (3)来期見通し 令和5年7月～9月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	138社
回答率	27.6%

(業種別)

製造業	40社
建設業	36社
卸売業	11社
小売業	26社
サービス業	25社
合計	138社

(2) 調査対象月

2023年4月～6月期

(3) 調査依頼期間

2023年6月30日(月) ～ 2023年7月14日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

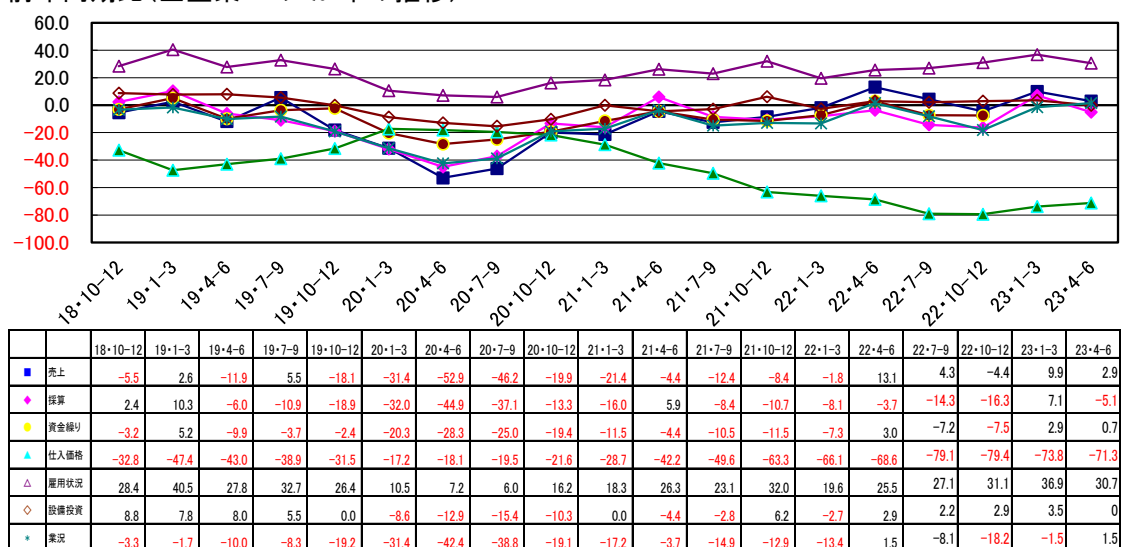
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



3. 概況

(1) 今期の特徴

今期は、コロナの5類移行による消費マインドの改善、インバウンド・国内観光需要の回復で、飲食・宿泊関連のサービス業、卸売業を中心に数値の改善がみられ、全体の数値を押し上げる結果となった。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増により価格転嫁に苦慮する事業所が多く見られた。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、受注の増加が見込まれるが、業種問わず人材不足が深刻化しており、受注件数を増やせない事業所が多い。また、仕入価格の増加や人件費の上昇により利益の増加は見込めない予想である。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」、4位「熟練技術者(従業者)の不足」、5位「人件費の増加」という結果になった。

(4) 今後の対応策

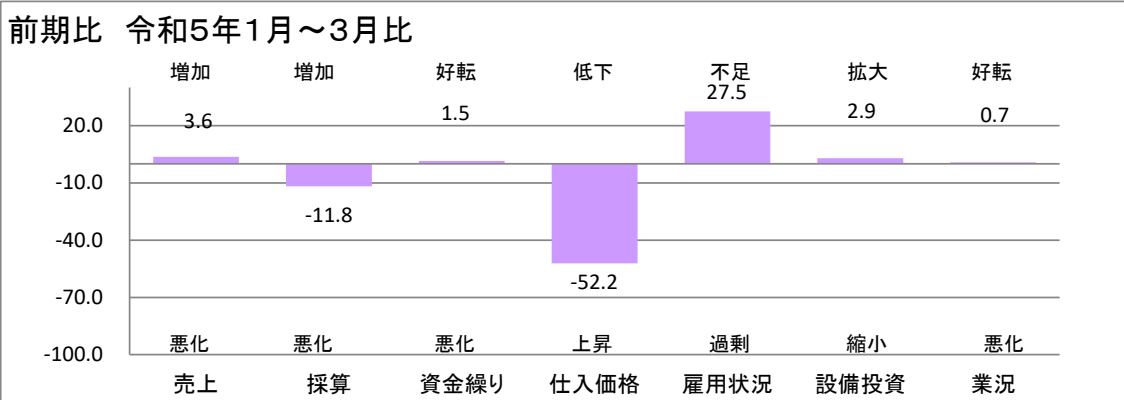
1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

(5) 総括・分析

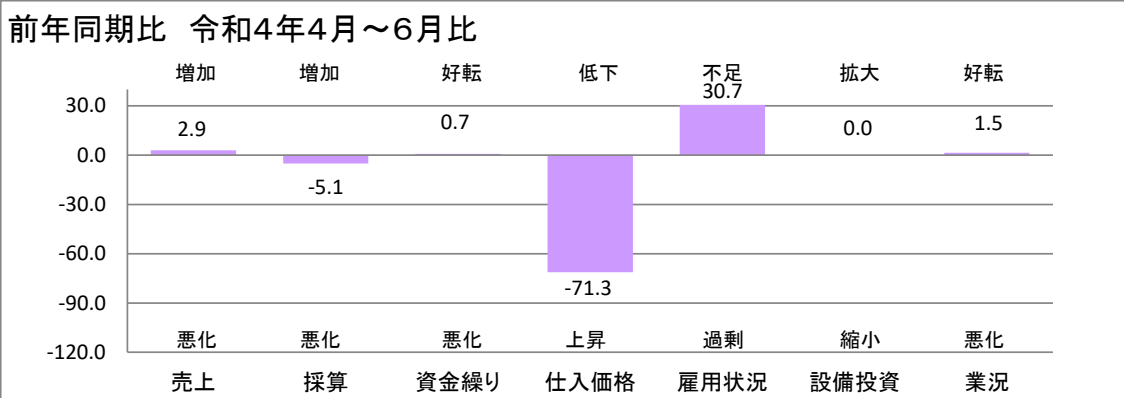
前期比と前年同期比は、コロナ5類移行に合わせて数値の改善が見られた業種が多かった。来期は物価上昇における買い控えや、人材不足により増やせない受注量により悪化することを心配する事業所が多かった。

また、国・県への要望としては県外企業に人材が流出しないように、空き家の活用やベースアップの補助を求めるコメントや中小企業の実情に合った施策を求めるコメントが多くみられた。

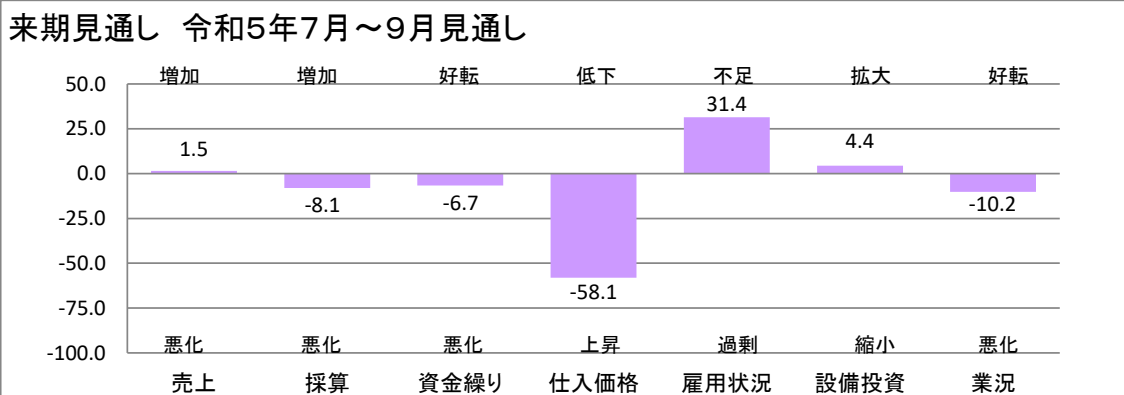
4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると、売上DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転、その他の項目はマイナスを示す結果となった。コロナの5類移行により、経済活動の回復が全業種でみられたが、仕入価格の上昇や人材不足の影響により、受注量を制限する事業所も多くみられた。



前年同期と比較すると、売上DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは好転その他の項目はマイナスを示す結果となった。業種にかかわらず、売上は増加しているが、仕入価格が上昇している為、利益増とはなっていないと回答する事業所が多かった。建設業においては、期首同士の比較の為、変化は小さいように感じられた。

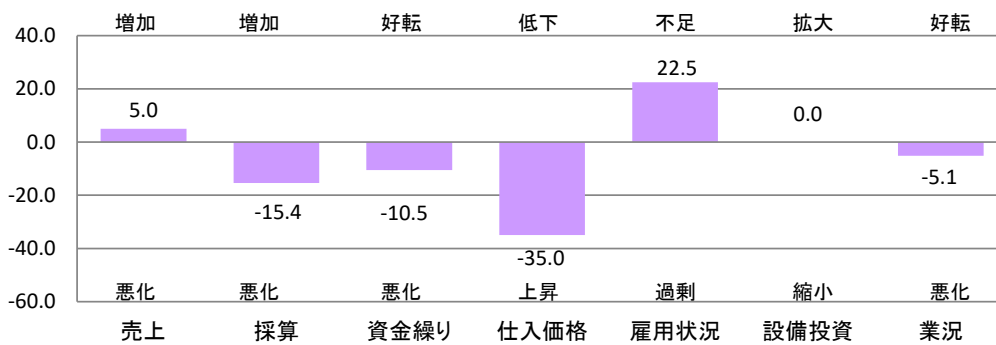


来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。個人消費の拡大や観光需要の回復、企業の設備投資の増加等、経済活動の改善が期待される一方、需要増に人材確保が追いつかず、受注機会の損失が懸念される。また、原材料価格の高騰継続によるコスト増加や、価格転嫁が十分に追いついていない中、中小企業の見通しは厳しい見方が続

5. 業種別の景気動向

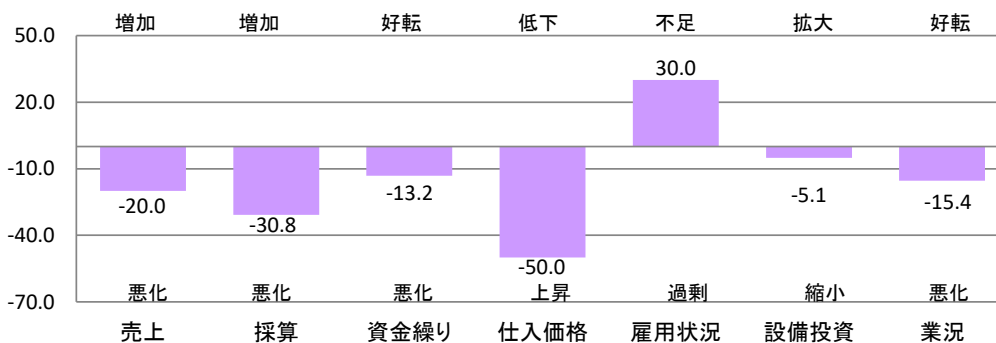
(1) 製造業

前期比 令和5年1月～3月比



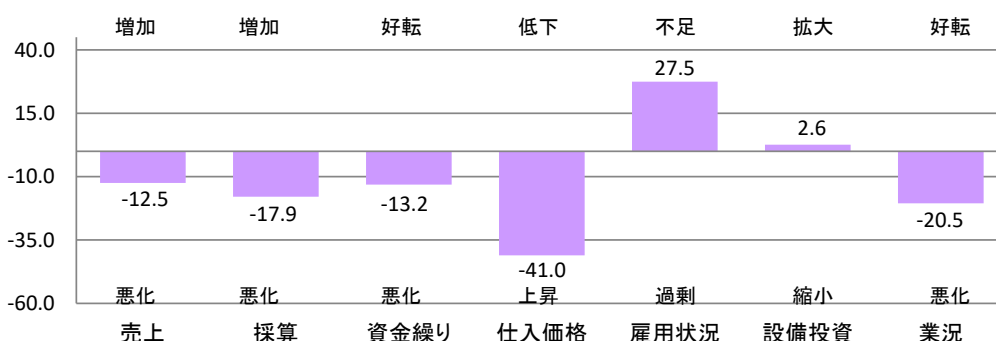
前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、その他の項目はマイナスを示す結果となった。原材料価格の高騰により、需要が減少し厳しい状況の事業所が多い。一方で、原材料価格の上昇によるコスト悪化分を販売価格へ転嫁できている事業所は業況が好転している。

前年同期比 令和4年4月～6月比



前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。コロナの5類移行により、飲食業が回復してきて業務用の売り上げが回復している。しかし、物価高の影響により消費動向が鈍った印象を持つ事業所も多くみられた。

来期見通し 令和5年7月～9月見通し

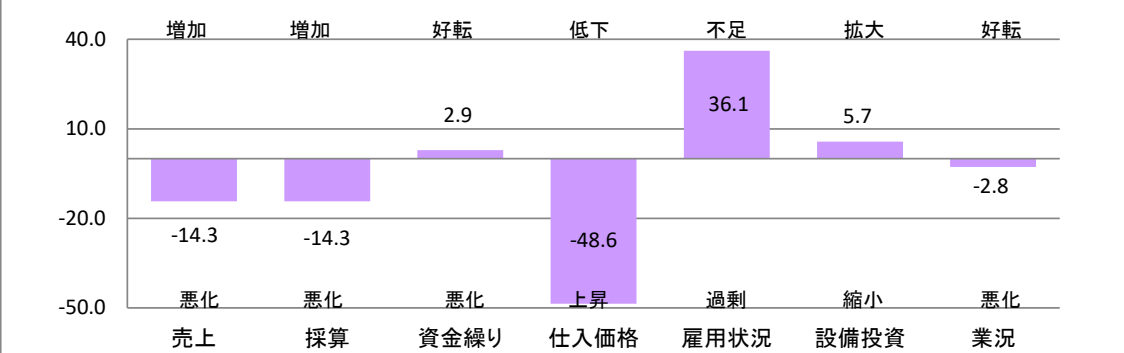


来期の見通しは、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。季節的な要因もあるが、受注が落ち着く時期であり、先の見通しが立たない事業所が多い。また、設備の老朽化が進む中で、どこに資本を集中させればよいか分からず、設備投資の停滞を縮小を検討する事業所もあった。

5. 業種別の景気動向

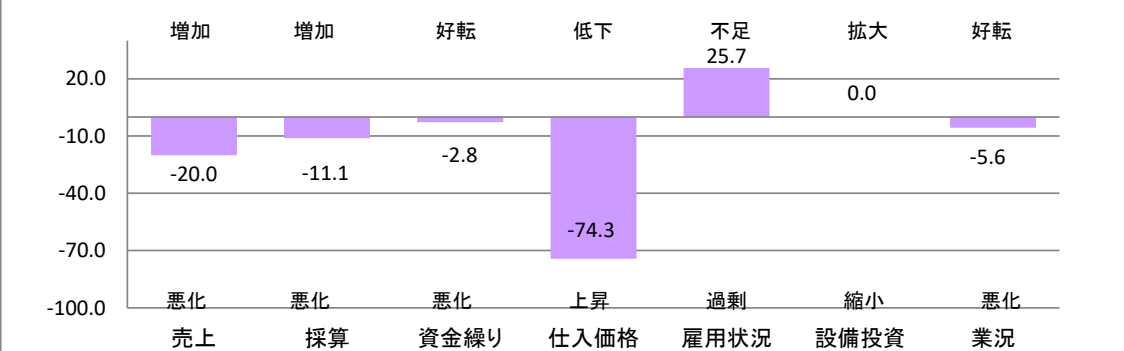
(2) 建設業

前期比 令和5年1月～3月比



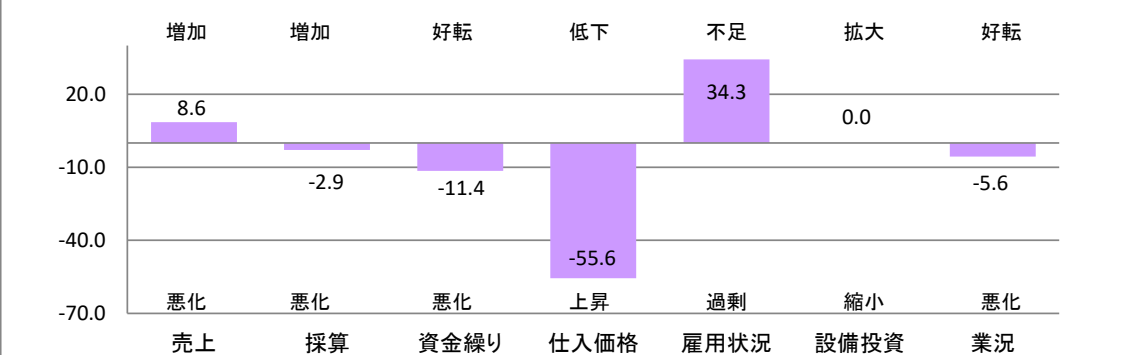
前期と比較すると、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。年度初めは公共工事の予算執行があまりないため、発注数が減少しており、業況は不変または悪化している事業所が多い。

前年同期比 令和4年4月～6月比



前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、その他の項目はマイナスを示す結果となった。公共工事の受注工事は、資材燃料費が上昇したが、労務費経費等の公共単価も上がったことにより、結果として売上・採算・資金繰りがよくなった事業所もあった。それ以外では、前年同期とほとんど変わらないと回答した事業所が多かった。

来期見通し 令和5年7月～9月見通し

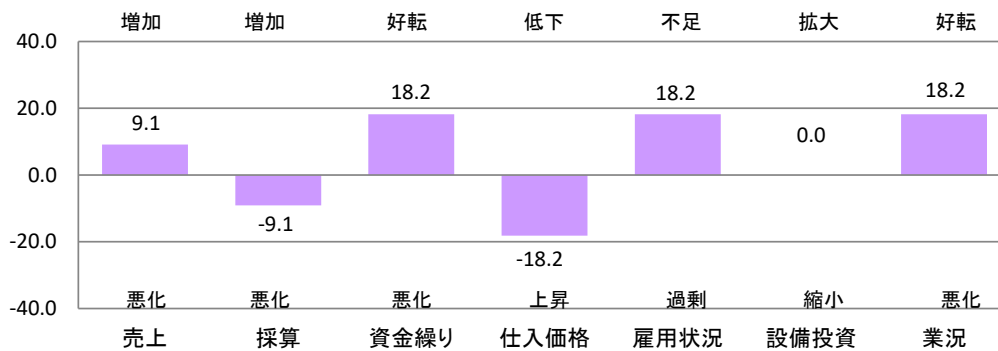


来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、その他の項目はマイナスを示す結果となった。来期も資材値上げや人員不足等は心配されるが、民間需要が高まっており、災害復旧を中心に受注が増加すると予想する事業所が多い。

5. 業種別の景気動向

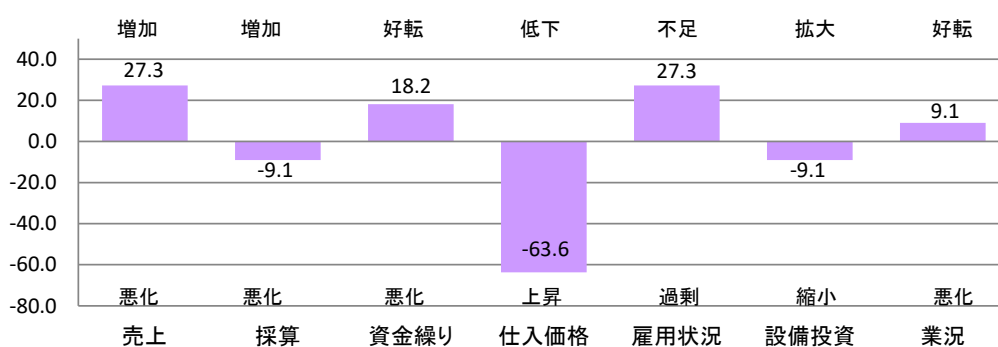
(3) 卸売業

前期比 令和5年1月～3月比



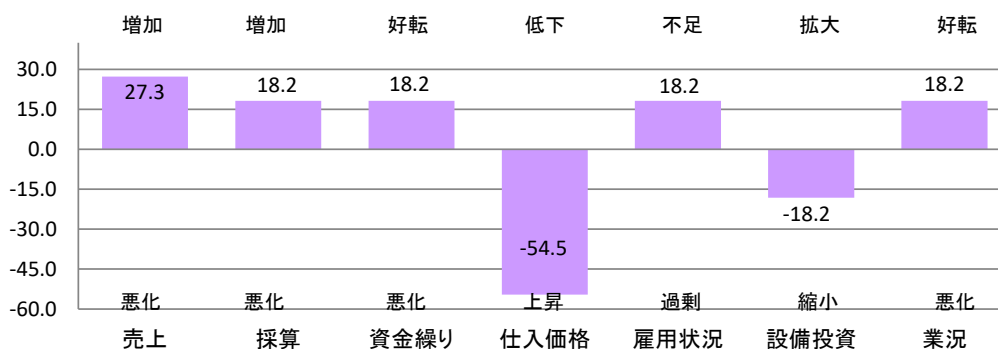
前期と比較すると、採算DIは悪化、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは0、それ以外の項目はプラスを示す結果となった。コロナ禍の頃と比較すると、客数の増加や業務用市場不振の回復により業況が好転している事業所がある。一方で、飲食店の廃業や、仕入価格の上昇に伴う受注数の悪化で業況は不変であると回答した事業所もあった。

前年同期比 令和4年4月～6月比



前年同期と比較すると、売上DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、業況DIは好転、その他の項目はマイナスを示す結果となった。業界総じて値上がりが実行されたため仕入価格、販売価格ともに上昇し、需要が回復せず受注状況が悪かったとのコメントが多くみられた。

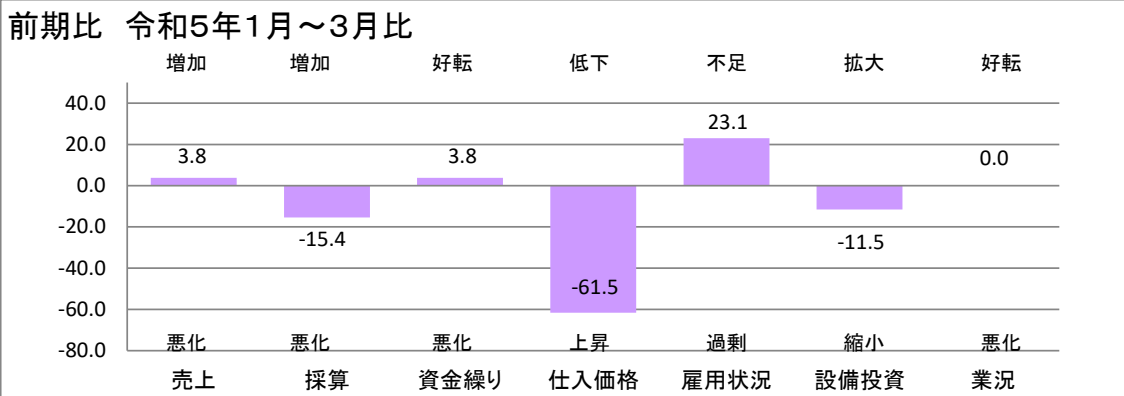
来期見通し 令和5年7月～9月見通し



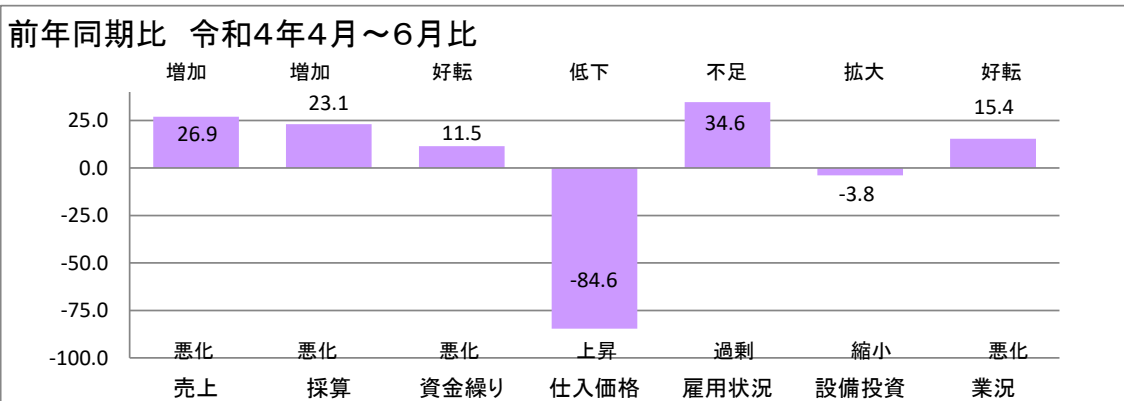
来期の見通しは、売上DIは増加、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、業況DIは好転、その他の項目はマイナスを示す結果となった。商品仕入価格の上昇が続くことから、来期も厳しい状況が続くと見通しを立てる事業所が多くみられた。

5. 業種別の景気動向

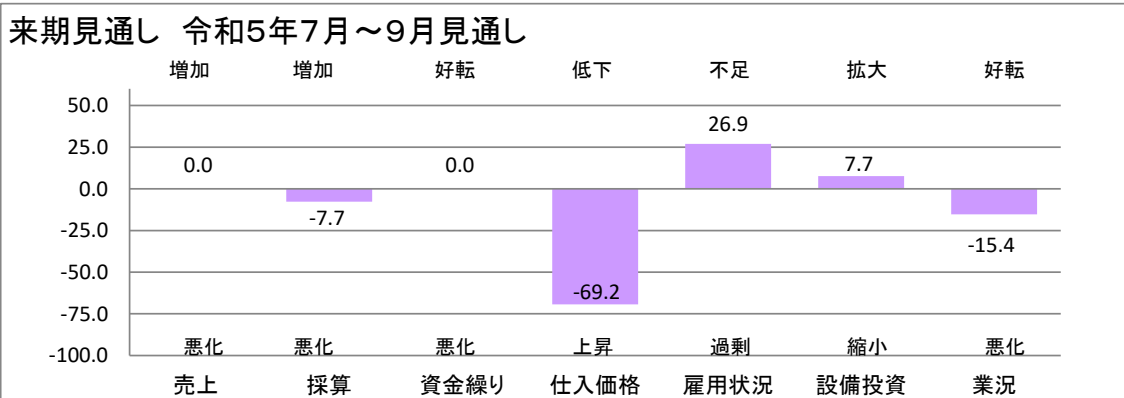
(4) 小売業



前期と比較すると、売上DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、業況DIは0、その他の項目はマイナスを示す結果となった。5月はGWやコロナの5類移行に伴い、売上が上昇したが、6月は4、5月と比較すると客足が少なかったとの声があった。



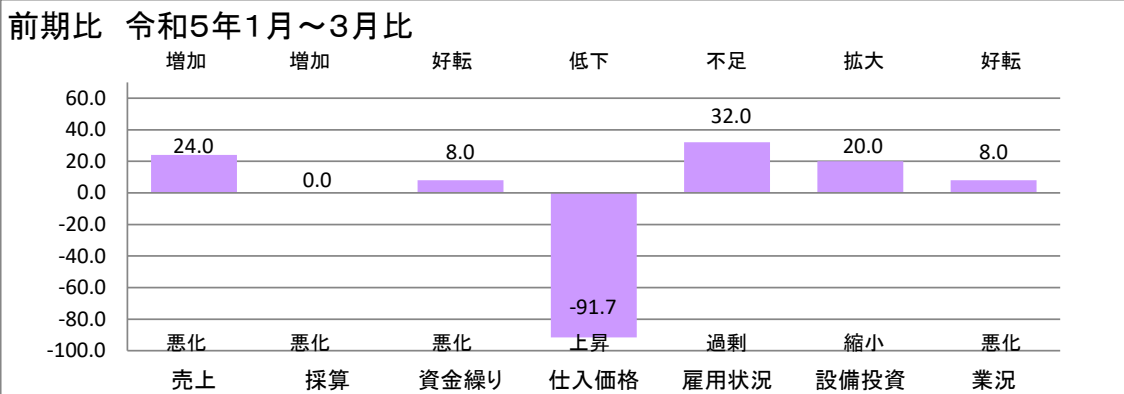
前年同期と比較すると、売上DIは増加、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、業況DIは好転、その他の項目はマイナスを示す結果となった。コロナの5類移行や宮崎～日南間に高速道路の開通により観光客の増加が見られ、売上は改善の傾向にあるとのコメントがあった。しかし、メーカーの販売価格の上昇により、消費者の買い控えの影響が出ている事業所も多い。



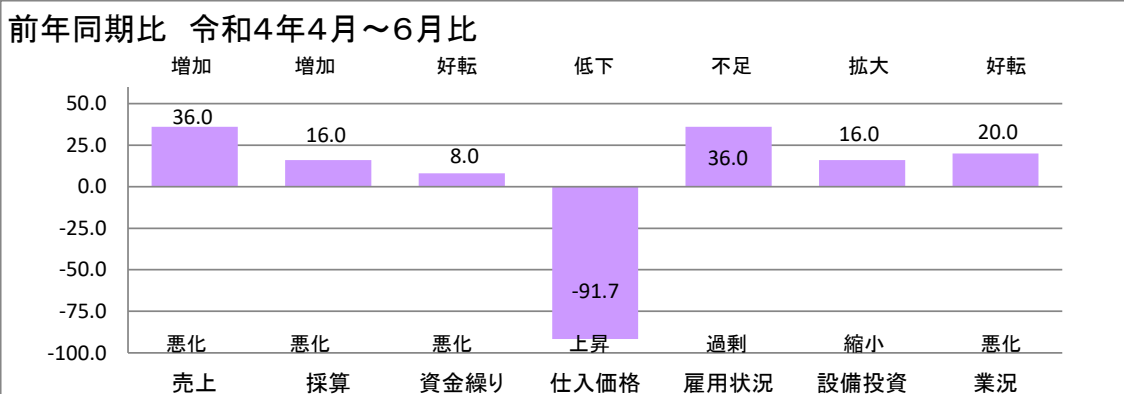
来期の見通しは、売上DIと資金繰りDIは0、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。来期も仕入価格の上昇が予想されるため、価格転嫁のタイミングに憂慮する事業所が多い。また、プレミアム商品券等の効果に期待する声も上がった。

5. 業種別の景気動向

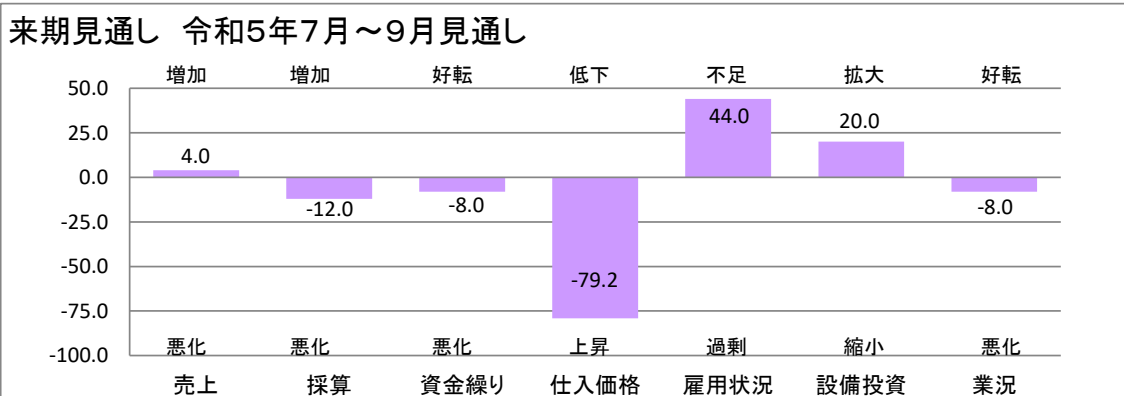
(5) サービス業



前期と比較すると、採算DIは0、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスを示す結果となった。コロナの5類移行の影響で人の動きが活発となり、売上が増加している事業所が多く、引き続き全国割などの旅行支援を期待する声があった。また、人材サービス業においては、全業界で人手不足となっている状況から好調の傾向にある。

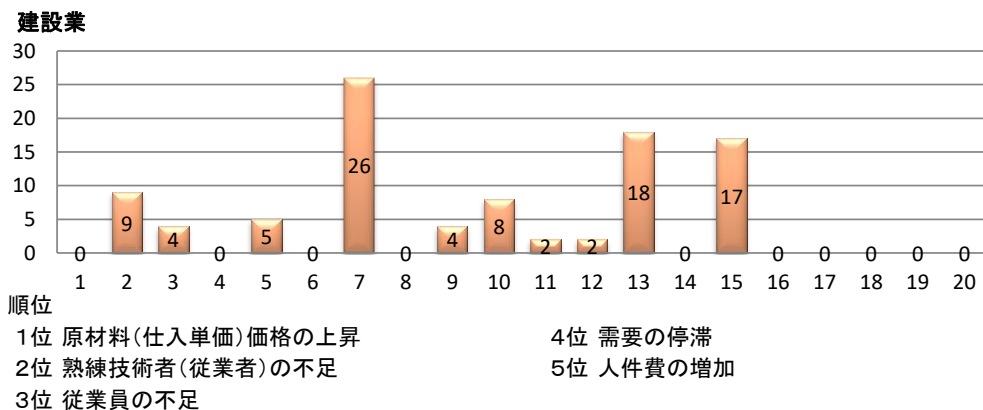
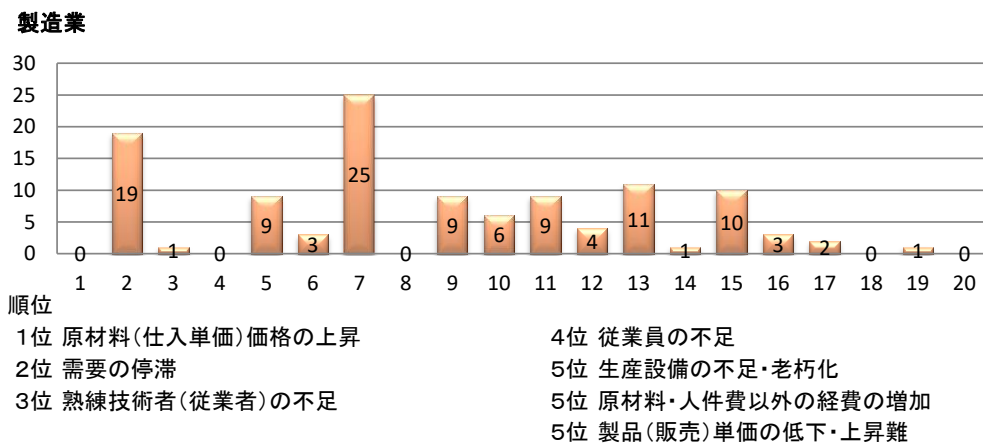
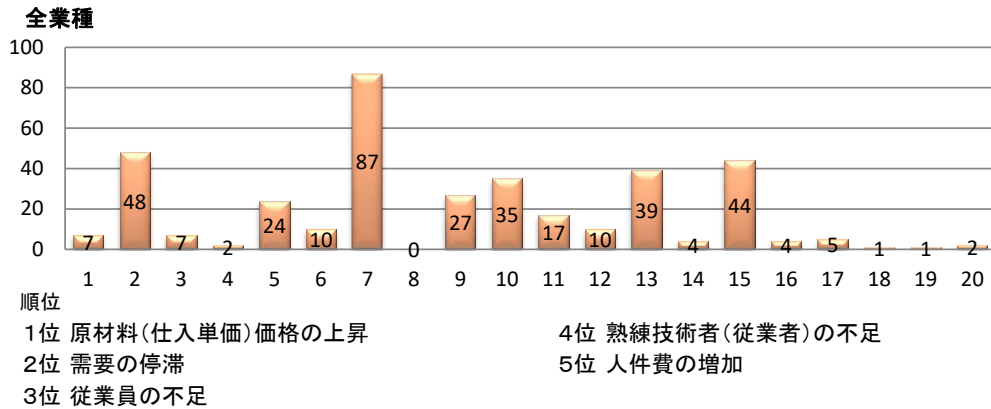


前年同期と比較すると、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスを示す結果となった。コロナ禍からの回復により売上は増加しているが、燃料価格高騰をはじめ、仕入等のコストアップにより利益に影響があまり変化がないと答える事業所が多い。また、放送業においてはスポンサーの広告見直しや出稿の減少により業況が悪化したとの回答が見られた。



来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。来期以降、旅行支援の縮小等で不透明感がありつつ、人材不足の影響で受注を受けることが困難な事業所が多くみられた。

6. 経営上の問題点

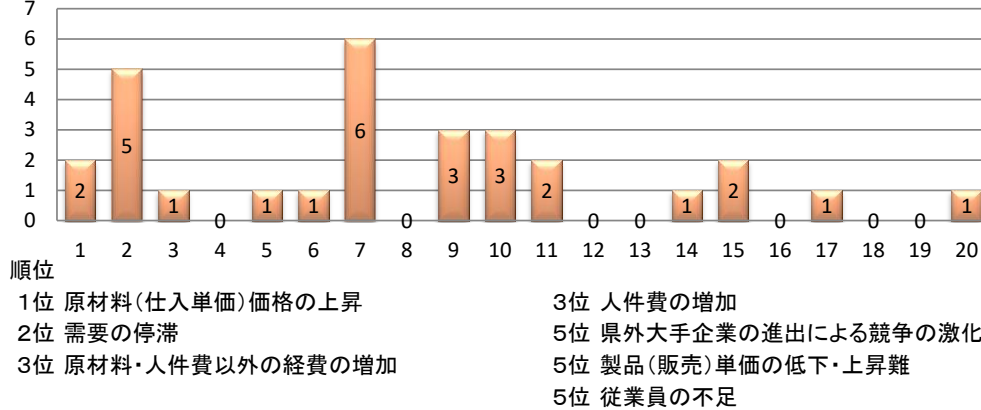


【項目一覧】

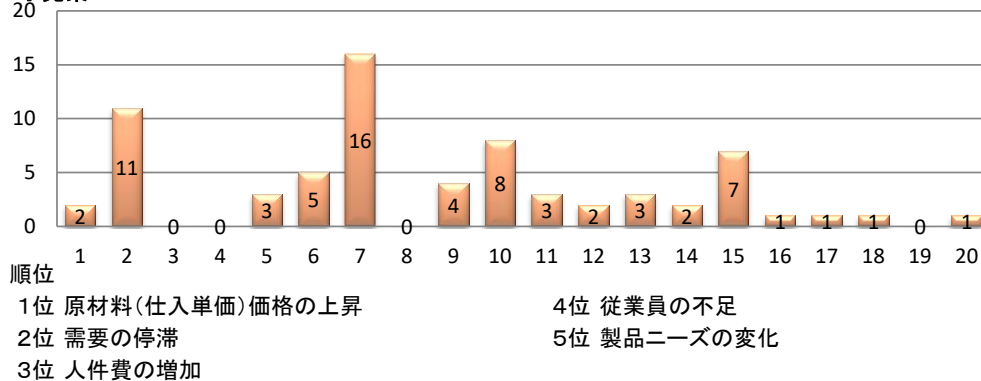
- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

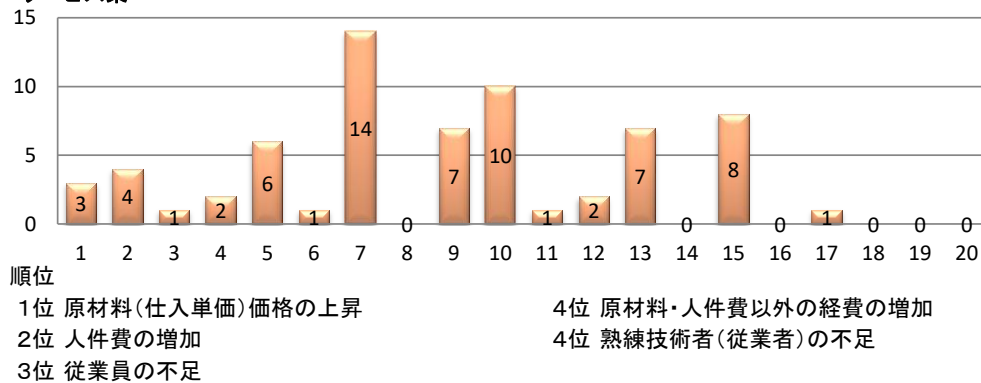
卸売業



小売業



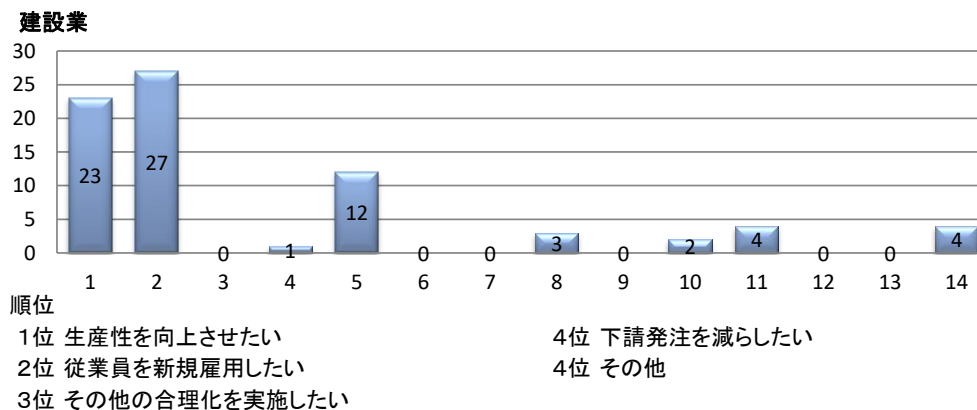
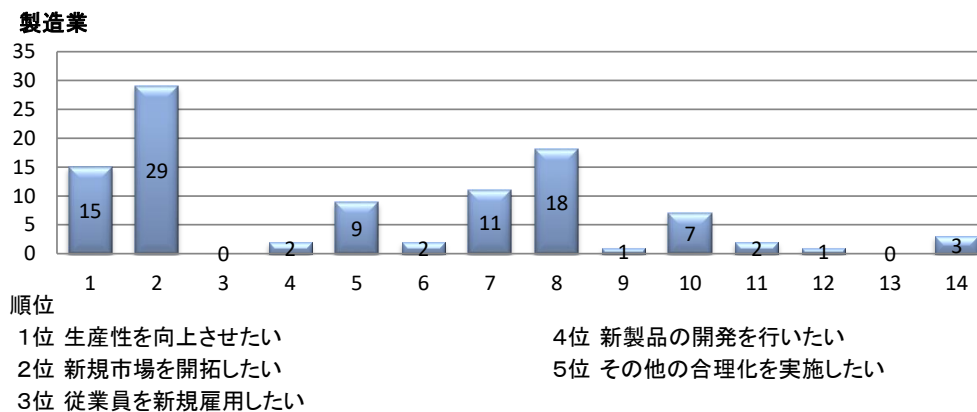
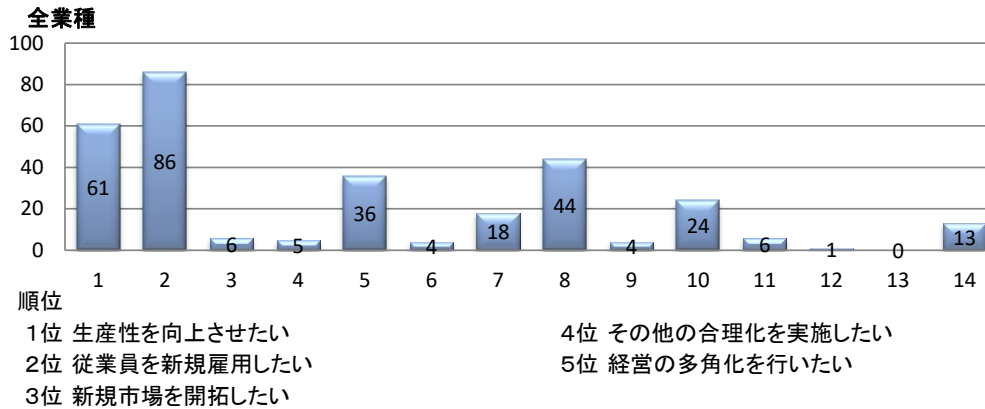
サービス業



【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

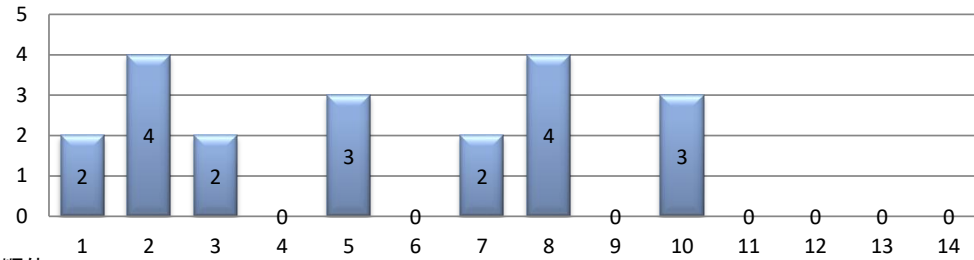


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

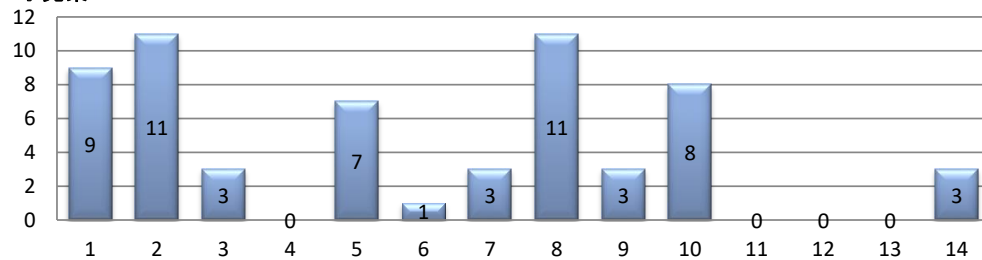
卸売業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 3位 経営の多角化を行いたい |
| 1位 新規市場を開拓したい | 5位 従業員を新規雇用したい |
| 3位 その他の合理化を実施したい | 5位 人件費を削減したい |
| | 5位 新製品の開発を行いたい |

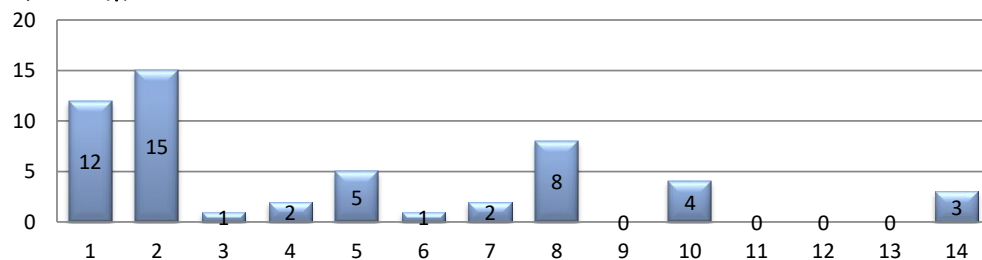
小売業



順位

- | | |
|----------------|------------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 4位 経営の多角化を行いたい |
| 1位 新規市場を開拓したい | 5位 その他の合理化を実施したい |
| 3位 従業員を新規雇用したい | |

サービス業



順位

- | | |
|----------------|------------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 4位 その他の合理化を実施したい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 5位 経営の多角化を行いたい |
| 3位 新規市場を開拓したい | |

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	建築資材製造	都城	物価の高騰による各種の経費増加への対応。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	色々な施策を計画しているが、本当に中小企業の実態に合っているのか？なかなかハードルが高いように見えて！
製造業	焼酎製造販売	串間	コロナ後となり、企業淘汰されないよう最大限の自助努力に努めていく所存である。
製造業	印刷業	宮崎	零細企業にとって、原材料の値上げはかなり堪える。値上げが、3ヶ月・半年ペースでくるので、顧客に対しての価格転嫁がなかなかできない。
小売業	切花鉢物販売	延岡	2024年問題で花の全国配達(JFTD)など変化が必要です。
小売業	酒小売	日南	人員不足だが正社員として雇用出来るだけの売上げ(粗利)を取れない為苦戦している。土地柄がWワーク需要も少なく感じる。

小売業	石油販売業	西都	石油販売業を行う上で仕入価格と補助枠を改善してもらいたい。9月の月には補助がなくなり、市民への負担は積もるばかりで、老人に対しての支援は少なく、子供支援ばかり重視している。考えてほしいと思う！！
小売業	靴・鞆販売業	西都	円安や原材料高騰による仕入単価が上がり店の個人消費の低迷は依然続いている。又大手メーカーの個店に対する商品の縛りや契約の見直しなど締め付けが出てきている。国はメーカー等の調査をしてほしい。
建設業	管・水道施設工事業	都城	社員の給与を上げたいが、その前に、資材等仕入のコスト増がいつまでつづくか不安で先が見えてこない。技術者の高齢が進みこの先どうなるやら。
製造業	電気機械器具製造業	延岡	生産年齢人口の減少から人材採用難が懸念される。地方、特に中小企業、小規模事業者への採用支援や補助の拡充が必要と感じる。
建設業	塗装業	延岡	宮崎県の企業全体で、県外への営業活動をフォローする施策があると良いと思います。
小売業	工芸品販売	日南	コロナ感染症の軽減、高速道路の開通等、見通しは明るくなりつつあるが、必ずしも景気が回復している訳でもなく、人々の購買意欲は戻っていない。飼肥に限って云えば伝建地区の整備、清掃等に県、国からの予算があると良い。

小売業	事務用品販売	日南	ネットショッピングの普及により、多くの需要が大手企業に流れており、中小企業や町のお店屋さんが、八方ふさがり状態。同じようにネットショップ事業するにも、資金、ノウハウ、法律の壁があり無理。インボイスや電帳法など、いらぬ法制度が多い。無駄な仕事とお金がかかるだけで、利点がそれに見合わない。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	国債は税金で返済しないといけないという誤った経済認識を改め、緊縮財政から積極財政へ転換しないと、国力が益々低下すると思います。
小売業	調剤・医薬品販売	西都	薬の業界では、仕入れ困難の薬品もあり、価格上昇に加えて、仕入れ自体も通常ではないので安定した流通を国としてやってほしい。
サービス業	バス事業、旅行事業、航空事業、遊園事業、保険事業、熱供給事業、不動産事業	宮崎	資格取得支援等、業種によっての不足人員の解消策を打ち出して頂きたい。自助努力だけでは難しい所がある。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	引き続き、「観光宮崎」を盛り上げていただきますようお願いいたします。
建設業	住宅建築業	串間	やはりインボイス制度が始まると、細かい支払等難しい問題が出てきそうです。免税事業者の制度を改める方が先だったのでは。

製造業	コンクリート製品	日南	値上げ分の対策(資材、油、電気代)。
建設業	建設土木	西都	社員の高齢化に合わせ、作業量や作業内容を考慮しながらやっているが、それを補う為の策としてICT等の補助金が、もう少し容易に使える様になる事を望む。
サービス業	民間放送業	宮崎	地域活性化に対してのイベントなどの補助金があると実施しやすいです。
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	インボイス制度登録申請で、免税事業者が判断に苦慮している方がかなり多いようです。
小売業	スーパー、精肉卸	日南	まずは雇用の面で県外企業に人材が流れている。県外の人材確保する為には、空き屋などを有効活用できる方法がないか？(社宅として活用し、費用の半分を国・県が負担など)
卸売業	業務用製品卸	日向	減税(経済好循環のために)。

小売業	事務機、事務用品 販売	小林	新規雇用はしたいが、中々採用までいかない。現職員給与との兼ね合いで、高給与での募集はしづらい。インボイス、電帳法等益々業務負担増、システム導入費が見込まれる。
サービス業	総合コンサルティング	日南	とにかく規制緩和。最低賃金の引上げ。生産性が低く国民の福祉に影響しない企業、団体がちゃんと市場から撤退するように、変な補助金とかやめてほしい。国全体で非成長産業から成長産業に人員が移動できるよう、人材の流動性を高める。撲滅、ゾンビ企業！
サービス業	ホテル	日南	長い支援を期待します。(100を1ヶ月よりも、10を10ヶ月のように)
サービス業	飲食業	日南	地域振興券みたいな希望です。(現金だと貯金になっちゃうので)
サービス業	廃棄物処理業	日南	賃上げを促進したいのであれば、企業に対して増税しないでほしい。
サービス業	自動車整備業	西都	減税！